

ZSZ

はつしほ

平成12年 1月 8日

55

協会ニュース No.60  
購読料 1部 100円  
(会費は会費に含まれています)  
会費 年 4,000円

社団法人日本自閉症協会

社団法人 全国自閉症協会 事務局 〒100-0001 東京都千代田区千代田2-2-208  
社団法人 日本自閉症協会 〒03-0220 東京都千代田区千代田2-2-208  
TEL: 03-5379-1122 FAX: 03-5379-1123  
http://www1.nizbif.or.jp/~4431/

# きいて!!

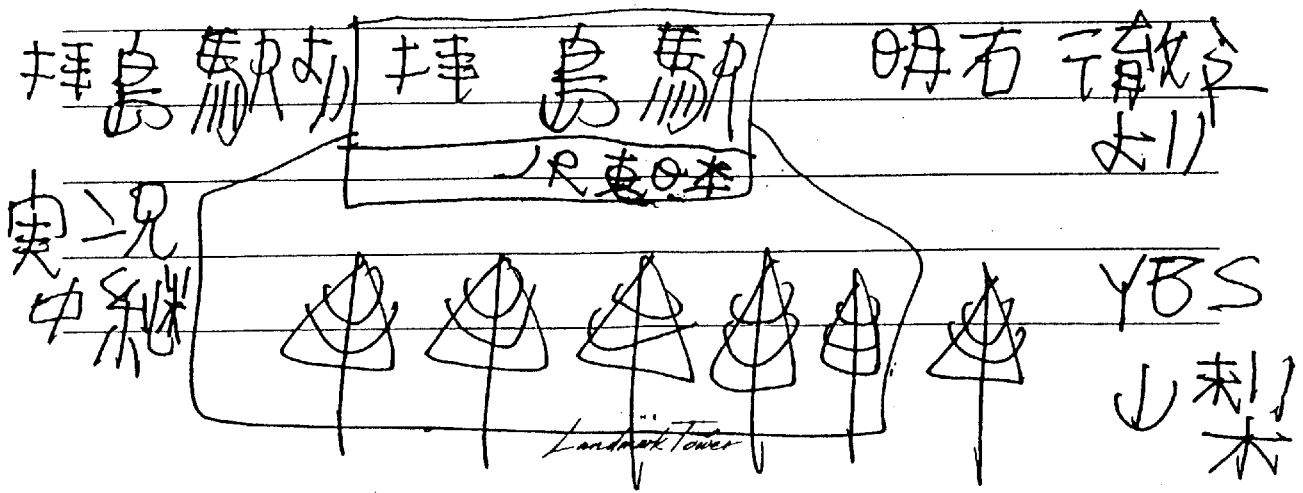
## 僕のきもち 私のきもち

本人の頁

こんにちは！明石徹之です！

川崎市多摩川の里で毎日楽しく働いています。皆さんとても親切です。お仕事は玄関の掃除、車いすや浴室の掃除、デューサービスの下準備、清拭のたたみ、ダンボールの片付け、生ごみ出しなどです！汗、水、流して働いています！みんなのお役にたたいです！お休みの日は関東各地に日帰り旅行をしています。

僕に会ったらこえをかけて下さい。笑顔で答えます。みなさんお仕事、がんばりましょう！！



# 「すみません」の人生から「ありがとう」の人生に！

明石洋子（神奈川県支部）

今日は！はじめまして。川崎市自閉症親の会の会員の明石洋子です。10年以上前は佐賀県の親の会の副会長を（九州の理事も）していましたが、「いとしこ」の読者の方で徹之をご存じの方は多いかな？。さらに今回のNHK「新日本探訪」笑顔で町に暮らす」の放送（11月21日）で、徹之の知名度は全国区になって、これから徹之は日本全国どこにでも旅行できそうで嬉しいです。社会への自立は、本人を知ってもらうことから始まります。各地から「日々の実践が画面に溢れ、地域で生活することの大切さを実感。明るさと行動力に感動！これこそまさに知りたかった地域での生き方・生き様！楽しくさわやかな番組で、勇氣と夢までもらえた。録画したVTRは宝物、毎日見て元氣一杯！」等々の感想が、多数寄せられました。ある県の自閉症協会支部から「これまでの自閉症の番組とは多くの面で異なり、画期的な内容で、大変感動すると共に嬉しい気持ちで、終始涙が出ました。本当の「ノーマライゼーション」の姿を見せていただいて、励まされ、今後の目標にさせていただきます」と思いましたし、日本でも20〜30万人と言われる自閉症の方々と家族に、希望を与えてくださった」とNHKへの手紙は、特に嬉しかったですね。多くの肯定的な感想は私にも地域に生きる勇氣を与えてくれました。

中には「軽度だよ、働く意味や使命感があるからできるんだ」と言うご意見もあったようですが、重度の知的障害と判定された最初から、彼にそれらが備わったのではなく、周りが彼の特性を理解し、伝え方を

工夫してやっとな、人からの働きかけや、物事を教わる姿勢が培えたので、幼児期から日々の生活の中で、こだわり等も利用し工夫して、実体験の機会を作り、励まし、彼に満足感と自信をつけ、働く意欲を育ててきました。日々役割を与えることで義務や責任感を生れ、彼の文中にある「汗水流して働き、社会のお役に立ちたい」という気持ちが芽生えたようです。

またTVの中で、父親が「人なつっこい。挨拶がきちんとできる。」と話していましたが、自閉症の特性である「人に関心を持たない」以上に、徹之は「人が嫌い」で、父親さえ嫌がり、ドアの外に連れ出しては、締め出すことしばしばでした。私は夫の悲しみを思うより、子供と上手に付き合えない彼を非難した時期もありました。父親をしてさらに地域の多くの人々と、徹之が混乱しないで関われるようになり、人が好きになり、挨拶できるようになったかなどは、紙面が無くなりませんでしたので機会があれば、彼の予測できない行動はハプニングだらけですが、それが変化に富んだ感動の日々になっています。最近の「お受験」騒動の事件等を見聞きするにつけ、徹々たる進歩を喜んで支援してください。できる障害児の子育ては、東大生にする子育てより面白い、と思えてきます。肩の力を抜いて、100のうち50は子育て、50は地域へ、そして地域の力を期待して、楽しく子育てをしましょう。地域には「すみません」より「ありがとう」ですね。徹之の毎日発する素敵な言葉です。皆様これからも応援してください。